

2023年1月26日

株式会社三菱UFJ銀行

大阪市が発行するグリーンボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ほんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、大阪市が発行する「大阪市第1回公募公債（グリーンボンド）（5年）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、環境事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、大阪市が取り組むSDGsの達成に資する下表のグリーン化事業に充当されます。

【充当事業】

分類	事業内容
グリーンビルディング	大阪公立大学キャンパス整備事業 (森之宮キャンパス)
エネルギー効率	下水道事業
クリーン輸送	なにわ筋線事業
気候変動適応	埋立地の浸水対策 (高波等に対する浸水対策)
	無電柱化事業
	うめきた2期区域のまちづくり (大深町地区防災公園街区整備事業)

なお、本債券のフレームワークは、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンドオピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021^[1]」および環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2022年版^[2]」に適合していると認められております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も環境事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	大阪市第1回公募公債（グリーンボンド）（5年）
年限	5年
発行額	50億円
発行日	2023年2月6日

^[1] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「グリーンボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。

<https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

^[2] 環境省が定義する「グリーンボンドガイドライン 2022年版」は以下をご参照ください。

https://www.env.go.jp/press/press_00186.html

以上